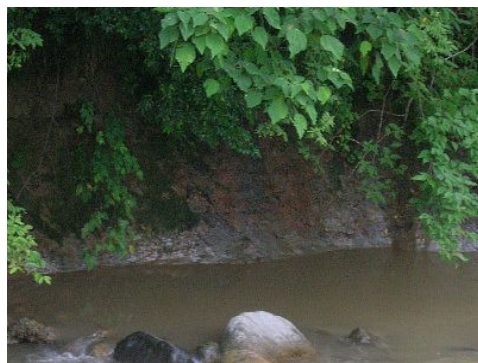


# 田糶の地層と化石

## 田糶川

この地域には、富山県西部の音川層に相当する層のシルト質砂岩が分布しています。田糶川河床の砂岩層内には、数は少ないのですがキララガイや有孔虫と呼ばれる動物プランクトンの化石を見つけることができます。有孔虫の中の底生有孔虫は種によって生息する海水温度が違うので、種が分かるとその有孔虫が生きていた時代の海水温を知ることがかできます。



田糶川河床で見つけることができる貝化石は、ほとんどキララガイです。キララガイは貝殻にあるV字型の筋が特徴で、水深200m程度までの海に生息していたと考えられています。化石の産出状況を見ると、貝殻が2枚そろっていることから、現地性（この場所に住んでいた）と考えられます。このことをさらに裏付けするのが、下の写真の「サンドパイプ」と呼ばれる巣穴の化石です。500万年ほど前の田糶は、水深200m程の海底だったことがこの化石から分かります。



キララガイの化石



表面のV字型の筋



生息痕

## 有孔虫の抽出・観察法

- ①蒸発皿に水と有孔虫が含まれている砂を入れ、表面についている泥などを米とぎの要領で洗います。
- ②完全に濁りがなくなるまで洗ってから乾燥させます。
- ③シャーレに入れて実体顕微鏡で観察します。

※詳しくは当サイト内の「化石や微化石から学ぶ」を参照してください。